

令和2年度 過労死等防止対策推進シンポジウム 【岩手会場】

実施概要・アンケート

令和3年3月

株式会社 プロセスユニーク

1.実施概要

会場	開催時間	会場	事前申込	参加者	参加人数			事前申込者参加状況			
			リスト	目標数	合計	事前申込	当日参加	申込数	参加数	差	参加率
10/27(火) 福井会場	13:30~16:00	福井県国際交流会館 3F 特別会議室	41	80	52	37	15	41	37	▲4	90.24%
10/29(木) 石川会場	14:00~16:30	金沢商工会議所 ホール	66	100	77	58	19	66	58	▲8	87.88%
11/4(水) 岐阜会場	13:30~16:00	じゅうろくプラザ 5F 大会議室	96	80	104	86	18	96	86	▲10	89.58%
11/4(水) 宮城会場	13:30~16:00	せんだいメディアテーク スタジオシアター	73	150	73	61	12	73	61	▲12	83.56%
11/4(水) 神奈川会場	13:30~16:30	日石横浜ホール	84	150	85	73	12	84	73	▲11	86.90%
11/4(水) 静岡会場	13:30~15:30	静岡市民文化会館 大会議室	89	80	91	78	13	89	78	▲11	87.64%
11/5(木) 群馬会場	13:30~15:30	ピエント高崎 6階 602号室	56	80	66	55	11	56	55	▲1	98.21%
11/5(木) 大分会場	14:00~16:00	全労済ソレイユ カトレア 7階	118	100	120	101	19	118	101	▲17	85.59%
11/5(木) 兵庫会場	14:00~16:00	兵庫県民会館 9階 けんみんホール	92	200	83	77	6	92	77	▲15	83.70%
11/6(金) 滋賀会場	13:30~16:00	草津市立まちづくりセンター 3F 301・302会議室	46	80	52	40	12	46	40	▲6	86.96%
11/6(金) 福岡会場	18:30~20:30	天神クリスタルビル 大ホール	69	100	69	50	19	69	50	▲19	72.46%
11/9(月) 茨城会場	13:30~16:00	つくば国際会議場 多目的ホール	48	80	46	39	7	48	39	▲9	81.25%
11/9(月) 広島会場	14:00~16:00	広島YMCA国際文化センター 本館B1F 国際文化ホール	74	100	77	66	11	74	66	▲8	89.19%
11/10(火) 福島会場	14:00~16:00	キョウワグループ・テルサホール (福島テルサ) 3階 あぶくま	45	80	49	40	9	45	40	▲5	88.89%
11/11(水) 東京中央	14:00~17:00	イイノホール	270	300	245	217	28	270	217	▲53	80.37%
11/13(金) 東京立川会場	17:30~19:45	ホテルエミシア東京立川 (旧立川グランドホテル)	64	100	62	50	12	64	50	▲14	78.13%
11/13(金) 奈良会場	14:00~16:20	奈良商工会議所 5F 大ホール	52	80	61	48	13	52	48	▲4	92.31%
11/16(月) 大阪会場	14:00~16:30	コングレコンベンションセンター ルーム1.2.3	144	250	140	119	21	144	119	▲25	82.64%
11/16(月) 栃木会場	14:00~16:15	栃木県総合文化センター 特別会議室	75	80	75	60	15	75	60	▲15	80.00%
11/17(火) 愛知会場	14:00~16:00	名古屋国際センター 別棟ホール	88	200	90	72	18	88	72	▲16	81.82%
11/17(火) 宮崎会場	18:00~20:00	宮日会館 11階 ホール	45	100	76	36	40	45	36	▲9	80.00%
11/18(水) 佐賀会場	18:30~20:30	アバンセ佐賀 4F 第3研修室	33	80	37	26	11	33	26	▲7	78.79%
11/18(水) 青森会場	18:00~20:00	ハートピアアーク大会議室	80	80	82	74	8	80	74	▲6	92.50%
11/19(木) 新潟会場	14:00~16:30	朱鷺メッセ 中会議室301	48	80	55	37	18	48	37	▲11	77.08%
11/19(木) 徳島会場	13:00~15:00	徳島大学 地域連携プラザ 2F 地域連携大ホール(げやきホール)	56	80	118	49	69	56	49	▲7	87.50%
11/20(金) 岩手会場	13:30~16:00	岩手教育会館 2階 多目的ホール	63	80	61	47	14	63	47	▲16	74.60%
11/20(金) 京都会場	13:30~16:20	池坊短期大学 洗心館 B1F こころホール	85	150	85	70	15	85	70	▲15	82.35%
11/20(金) 山口会場	13:30~16:30	宇部市文化会館 3F 文化ホール	80	80	96	75	21	80	75	▲5	93.75%
11/21(土) 長崎会場	14:00~16:20	NBC別館 2F メディア・ツー	53	80	56	45	11	53	45	▲8	84.91%
11/24(火) 高知会場	13:30~15:30	ちよテラホール	36	80	53	34	19	36	34	▲2	94.44%
11/24(火) 埼玉会場	14:00~16:30	ソニックシティビル棟4階 市民ホール401	91	200	90	70	20	91	70	▲21	76.92%
11/24(火) 鳥取会場	13:30~15:30	倉吉体育文化会館 大会議室	62	80	64	50	14	62	50	▲12	80.65%
11/25(水) 山梨会場	18:30~20:30	ヘルクラシック甲府エリザベート	78	80	70	56	14	78	56	▲22	71.79%
11/25(水) 島根会場	13:30~15:30	島根県立男女共同参画センター あすてらす 大ホール	146	100	140	126	14	146	126	▲20	86.30%
11/26(木) 岡山会場	14:00~16:00	岡山国際交流センター 8F イベントホール	71	100	76	61	15	71	61	▲10	85.92%
11/26(木) 富山会場	14:00~17:00	ポルファートとやま 琥珀の間	65	80	67	52	15	65	52	▲13	80.00%
11/27(金) 熊本会場	13:30~15:00	水前寺共済会館グレースシア 鳳凰	37	80	52	33	19	37	33	▲4	89.19%
11/27(金) 香川会場	14:00~16:00	かがわ国際会議場	86	80	86	72	14	86	72	▲14	83.72%
11/27(金) 北海道会場	13:30~15:30	ホテルポールスター札幌 ポールスターホール	112	150	91	75	16	112	75	▲37	66.96%
11/30(月) 愛媛会場	18:00~19:30	愛媛大学 共通講義棟A 11講義室	53	80	54	41	13	53	41	▲12	77.36%
11/30(月) 千葉会場	14:00~16:20	千葉県経営者会館 大ホール	53	80	60	47	13	53	47	▲6	88.68%
11/30(月) 長野会場	13:30~15:30	JA長野県ビル 12A会議室	40	150	50	37	13	40	37	▲3	92.50%
12/1(火) 三重会場	13:30~15:45	松阪商工会議所 第1研修室(3階)	65	80	71	56	15	65	56	▲9	86.15%
12/1(火) 山形会場	13:30~15:40	山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング 4階 中会議室	96	80	80	70	10	96	70	▲26	72.92%
12/3(木) 秋田会場	13:30~16:00	秋田市にぎわい交流館AU(あう) 多目的ホール	40	80	39	23	16	40	23	▲17	57.50%
12/4(金) 鹿児島会場	13:30~15:30	TKPカーデンシティ鹿児島中央 3F 薩摩ホール	62	80	66	52	14	62	52	▲10	83.87%
12/4(金) 和歌山会場	13:30~15:45	和歌山ビッグ愛 展示ホール	44	100	74	37	37	44	37	▲7	84.09%
12/10(木) 沖縄会場	17:30~19:30	沖縄青年会館 大ホール	35	80	35	27	8	35	27	▲8	77.14%
			3,505	5,120	3,701	2,905	796	3,505	2,905	▲600	82.88%

2.来場者集計・チラシ

来場者数：61名

以下に来場者の属性を示す。

経営者	2
会社員	13
公務員	5
団体職員	15
教職員	3
医療関係者	2
弁護士	1
社会保険労務士	4
パート・アルバイト	1
学生	0
過労死家族	1
その他	14

チラシ



岩手会場

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死等防止対策推進シンポジウム

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ

近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の労働問題によって多くの方の命や心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっています。本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなった方のご遺族にいただき、過労死等の現状や課題、防止対策について探ります。

日時

2020年11月20日(金)

13:30~16:00(受付13:00~)

会場

岩手教育会館 2階 多目的ホール

(盛岡市大橋 1-1-16)

参加無料

事前申込

新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い実施いたします。今後の感染状況により、参加人数を制限するなど、規模を縮小して実施する場合があります。申込には、事前申込みが必要です。詳細、中止の連絡等は、ホームページにてお知らせいたします。

主催：厚生労働省 協賛：岩手県、盛岡市 協力：過労死等防止対策推進センター、労働者健康増進の会の会費、岩手県労働安全衛生協会、岩手県建設業協会、盛岡市、いわて労連、岩手県建設労組、盛岡市労働組合連合会、岩手県労働組合連合会、岩手県労働組合連合会、岩手県労働組合連合会、岩手県労働組合連合会

〒010-0855 盛岡市大橋1-1-16 岩手教育会館 2階 多目的ホール

岩手会場

プログラム

【遠慮からの声】 川村 義孝 氏、長子 氏

【基調講演】 「中学校教諭の自死事件に取り組んで」 石橋 乙秀 氏（公益社団法人労働問題研究所 所長）

【事例報告】 「過労死防止に向けて、企業は何をやるか」
※専門家の立場から事業所や職場の取組や課題を紹介します。
 藤井 由里 氏（公益社団法人労働問題研究所 産業カウンセラー）

会場のご案内

岩手教育会館 2階 多目的ホール

(盛岡市大橋一丁目1-16)

公共交通機関をご利用の場合は、最寄り駅は盛岡駅となります。



参加申込について

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により事前申し込みをお断りいたします。先、定員になり次第締め切りをさせていただきますご了承ください。
- ▶ 申し込みはWebまたはお電話のみとなります。
- ▶ 参加証を発行いたします。当日、受付までお持ちください。
- ▶ 参加証の発行は、電話またはメールでも受け付けさせていただきます。
- ▶ 連絡先のTELとE-mailのどちらか必ずご記入ください。

● Webからの申し込み：以下ホームページをご覧ください。申し込みをお願いします。
<https://www.p-unique.co.jp/karoushiboeshaympo>

過労死等防止対策推進シンポジウム 検索

● 以下の参加申込書に必要事項を記載の上、FAXをお願いします。FAX番号 03-6264-6445

● 下記の「個人情報取得の同意」について、同意の上、ご記入ください。

過労死等防止対策推進シンポジウム【参加申込書】

● 次の該当する□に○を記入してください。

経営者 会社員 公務員 団体職員 教職員 医療関係者 弁護士
 社会保険労務士 パート・アルバイト 学生 過労死家族
 その他

お名前

〒

TEL: FAX:

連絡先 @TEL: @FAX:

@E-mail:

企業・団体名

(お問い合わせ先) 電話：0120-562-552 E-mail：karoushiboeshaympo@p-unique.co.jp 株式会社プロセスユニーク



岩手会場

過労死等防止対策 推進シンポジウム

日時 2020年11月20日(金)
13:30~16:00 (受付13:00~)

会場 岩手教育会館
2階 多目的ホール
(盛岡市大通一丁目1-16)

プログラム

- 13:30 [開会]
- 13:30~ [主催者挨拶] 岩手労働局
- 13:40~ [遺族からの声] 川村 義孝氏 川村 良子氏 (代読)
- 13:55~ [基調講演]
「中学校教諭の自死事件に取り組んで」
石橋 乙秀氏 (こずかた法律事務所 弁護士)
- 14:40~ 休憩
- 14:50~ [事例報告]
「過労死防止に向けて、企業は何をするか」
藤井 由里氏 (臨床心理士 精神保健福祉士 産業カウンセラー)
- 15:55~ [閉会挨拶] 岩手労働局
- 16:00 [閉会]

主催:厚生労働省

後援:岩手県、盛岡市

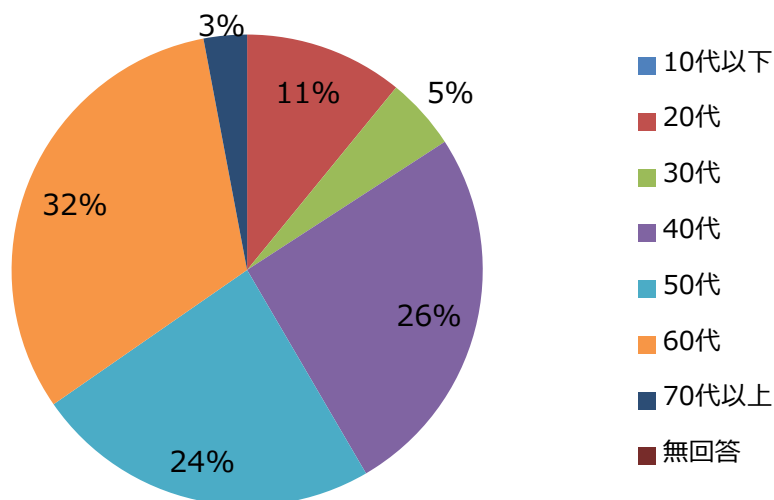
協力:過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議、岩手弁護士会、岩手県経営者協会、連合岩手、いわて労連、岩手県教職員組合、働く者の生命・健康を守る会、岩手県医師会、岩手県予防医学協会、岩手県看護協会、岩手障害者職業センター、岩手産業保健総合支援センター

4. アンケート集計

1. ご自身について

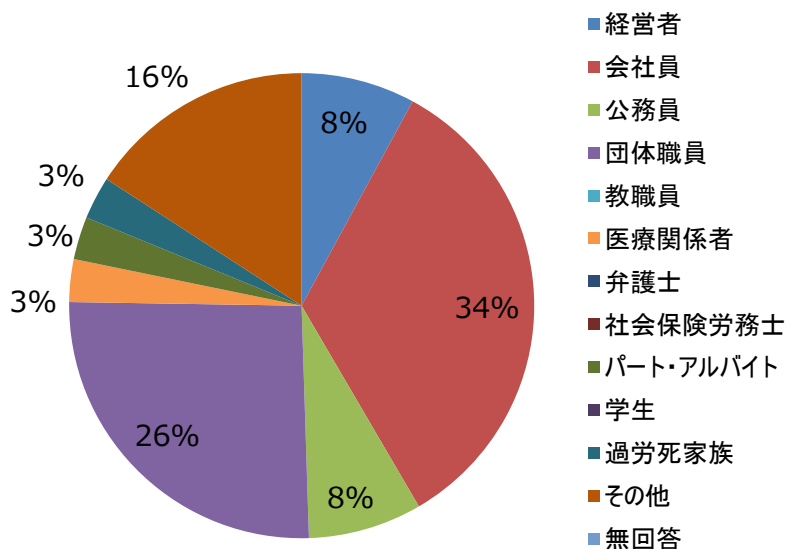
(1) 年齢

10代以下	0
20代	4
30代	2
40代	10
50代	9
60代	12
70代以上	1
無回答	0
合計	38



(2) 職業

経営者	3
会社員	13
公務員	3
団体職員	10
教職員	0
医療関係者	1
弁護士	0
社会保険労務士	0
パート・アルバイト	1
学生	0
過労死家族	1
その他	6
無回答	0
合計	38



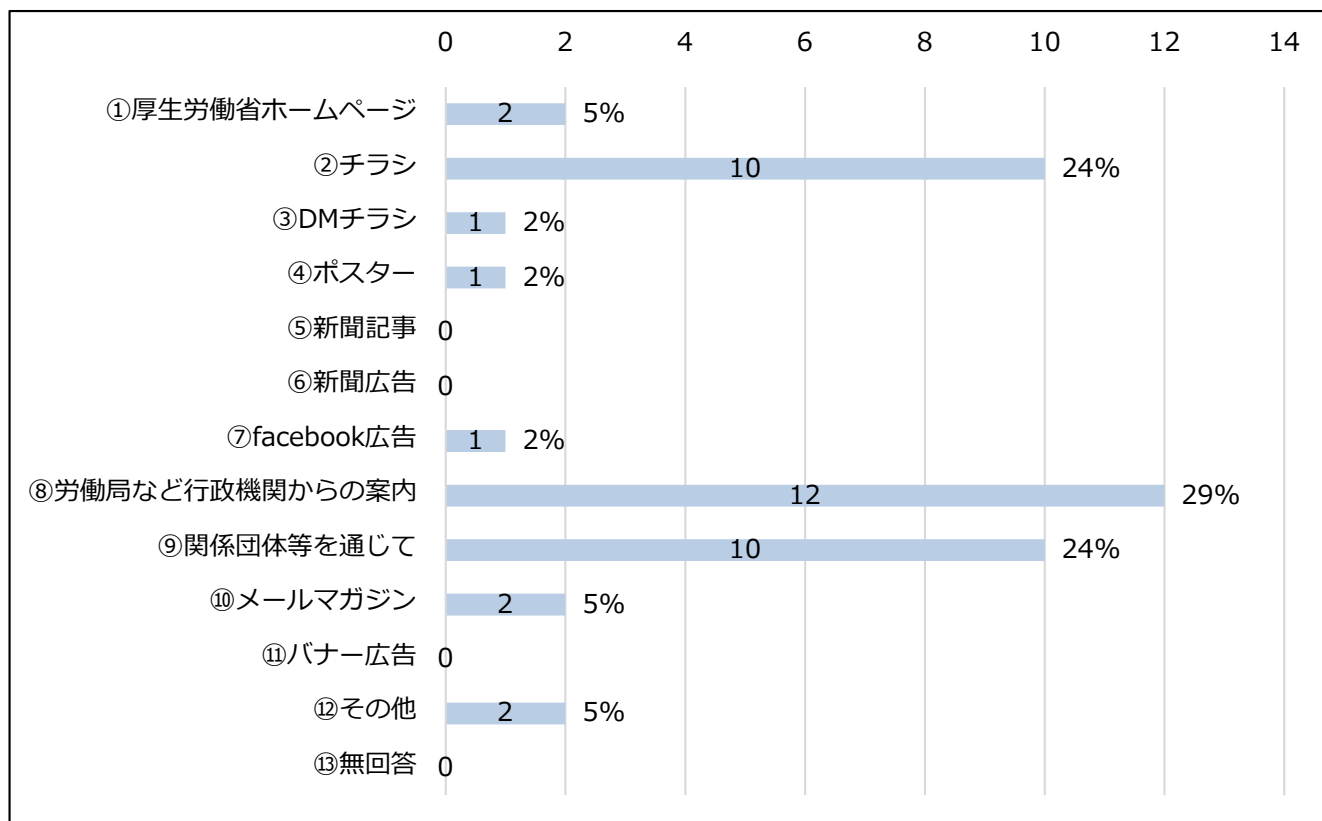
※その他内容

- 労働相談員。
- 社労士事務所職員。
- 無職。

* アンケートの「その他」に具体的な記載がないものもあるため、「その他」の集計数と、「※その他内容」の数は一致しない。

4.アンケート集計

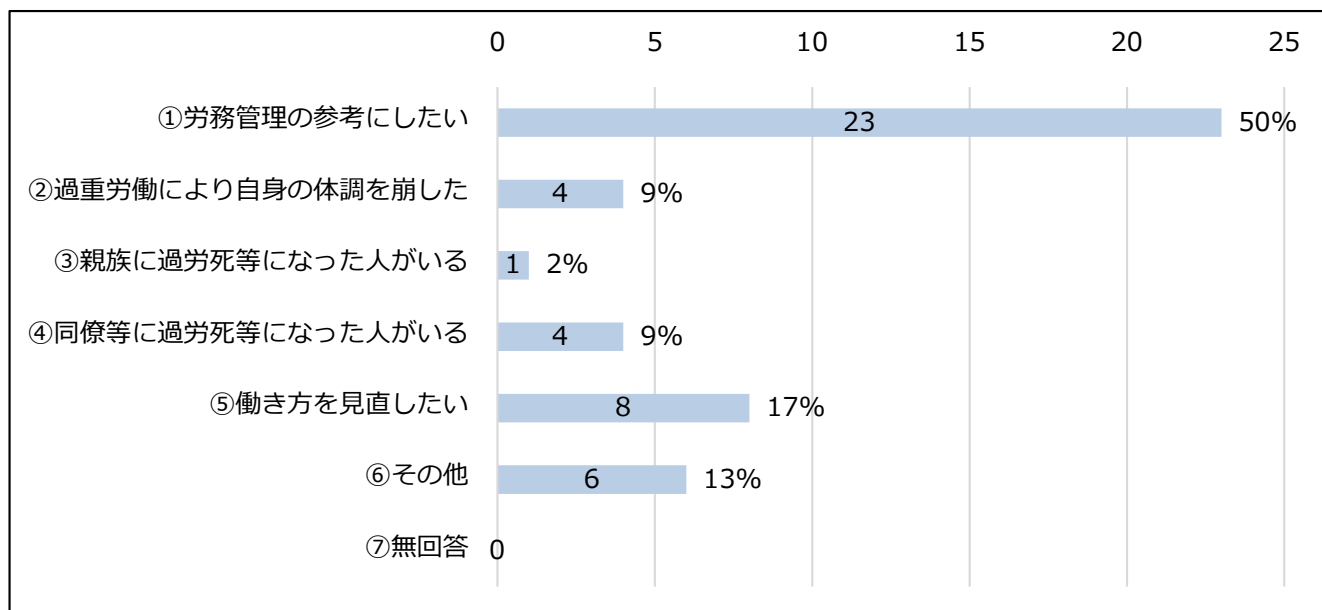
2. このシンポジウムを何で知りましたか：複数回答あり



※その他内容
回答なし

* アンケートの「その他」に具体的な記載がないものもあるため、「その他」の集計数と、「※その他内容」の数は一致しない。

3. シンポジウムに参加したきっかけは何ですか : 複数回答あり



※その他内容

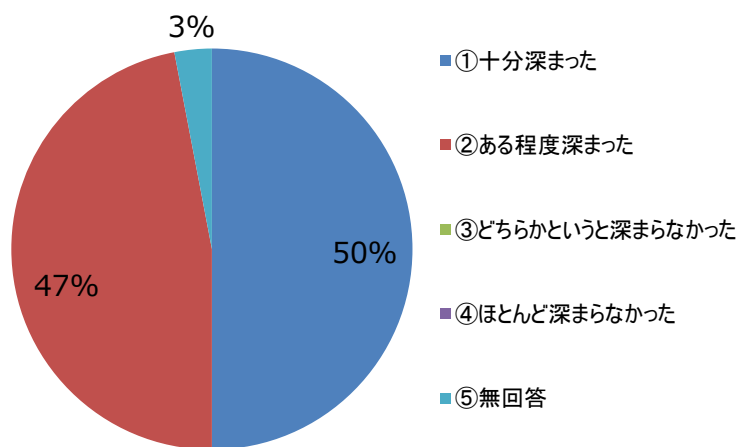
- 弁護士の話を聞きたかった。
- 職場の衛生委員会として参加。
- 協力団体の活動に協力している。

* アンケートの「その他」に具体的な記載がないものもあるため、「その他」の集計数と、「※その他内容」の数は一致しない。

4. アンケート集計

4. このシンポジウムに参加して過労死等への関心・理解が深まったと思いますか

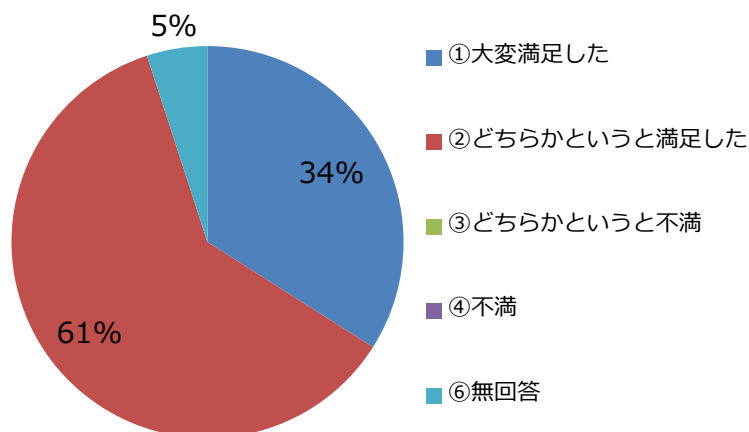
①十分深まった	19
②ある程度深まった	18
③どちらかというと深まらなかった	0
④ほとんど深まらなかった	0
⑤無回答	1
合計	38



5. シンポジウムについて

(1) シンポジウム全体について

①大変満足した	13
②どちらかという満足した	23
③どちらかという不満	0
④不満	0
⑥無回答	2
合計	38



(2) 上記(1)で「どちらかという不満」又は「不満」に印を付けられた方にお尋ねします。今後の参考としたいので、不満に思われた点を教えてください。

(抜粋版)

回答なし。

(3) 特に興味を持ったプログラムは何ですか
(抜粋版)

【基調講演】

「中学校教諭の自死事件に取り組んで」

石橋 乙秀 氏（こずかた法律事務所 弁護士）

- 「上手な怒り方」は仕事だけではなく、家庭でも気を付けようと思いました。程度言葉で起きるすれ違いが新たな怒りを招くとありましたが、全くその通りだと思いました。
- 弁護士先生の事例がとても参考になりました。
- 実際に過労死された教諭の自死事件に取り組まれた石橋弁護士の講演だったので、今後の課題や労働災害における流れも学べると思ったし、お聞きしてとても良かった。
- 特に「良幸さんのノートより」の資料が心に刺さった。
- 具体的事例を取りあげた点が良かった。
- 孫が来年小学校に上がるので、先生の立場がどんなものか興味がありました。

【事例報告】

「過労死防止に向けて、企業は何をするか」

藤井 由里 氏（臨床心理士 精神保健福祉士 産業カウンセラー）

- 社内での具体的な取組み等が分かりやすかったです。
- データで傾向を見る事ができた。自身の体験も併せて、今後の職場内での労働が、安心安全な職場の助けになればと思いました。取引先（職場外）からのパワーハラスメントもあると私は思っています。
- 企業としてどのように取り組むべきかを学ぶことができました。
- メンタルヘルス対策を重要とする社会情勢、具体策についてとても詳しく、資料も見やすく、理解を深められました。
- 理解がより深まったと感ずることができた。また、自分を振り返り、具体的行動に踏み出すきっかけを作ってもらったと思っています。
- 対応が分かりやすく、法的基準ではなく心に寄り添う事が大切だと感じた。
- 会社として過労死防止にどのように取り組むべきか、取り組みの参考になった。
- 労務管理の参考になりました。

4. アンケート集計

(4) シンポジウムの開催日時や会場の設定はいかがでしたか。
(抜粋版)

<全体について>

- 良いと思う。
- Webも開催してほしいです。

<会場について>

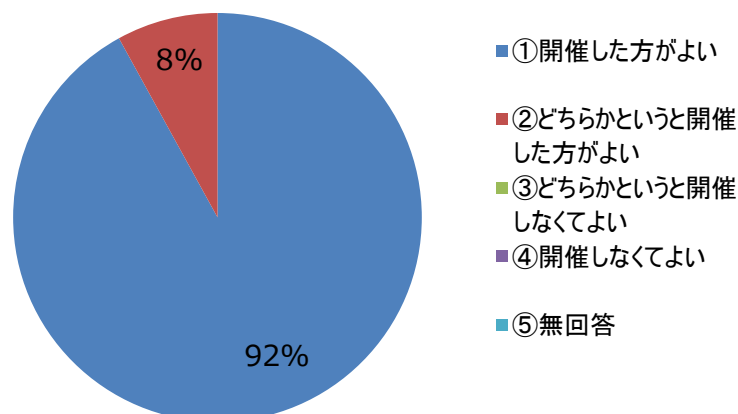
- 良いと思う。
- 新しく気持ち良かった。
- コロナ対策もできていて安心して参加できた。

<日時について>

- 適切だと思う。

6. 今後も同様のシンポジウムを開催した方がよいと思いますか

①開催した方がよい	35
②どちらかという開催した方がよい	3
③どちらかという開催しなくてよい	0
④開催しなくてよい	0
⑤無回答	0
合計	38



7. その他、ご意見・ご感想等がありましたらご記入ください (抜粋版)

- 犠牲者を一人でも減らすことが大切だと思いました。その努力を、労使一体で取り組むことが大事だと思います。
- パワハラ問題を克服した企業の事例発表を聞きたい。
- うつ状態になり、その後職場復帰した際に、企業としてはどのような取組をすればよいのか、という講演等があれば良いと思った。
- 過労で追い詰められた者は、自ら「ヘルプ」を発信しない。家族等の心配の声に応える使用者側の窓口も重要だと思います。長時間労働の実態把握のため、労使双方「時間外パトロール」なども必要ではないでしょうか。特に自発的残業に対応すべきと思います。
- 自身が現在、メンタルにより休職中。フェイスブックで知り、何か参考になれば、また職場や色々な方達の助けになればと思い参加しました。労働の問題は、管理職の固定概念を変えて頂かなければ減少しないのかなと思います。内容は分かりやすく勉強になりました。
- 管理者向けは勿論、被害側へのセミナー、研修なども受講したいと思った。
- 後輩への指導で怒り方に悩んでいたのが、参考になった。
- 藤井先生のアドバイスを独自に受けたい。当社にも、パワーハラスメントの問題あり。
- 啓発するために、継続開催をしてほしい。